



三川内山で
のんびり
窯元めぐり

祭り

のはもちろん、祭りに合わせて新作を発表する窯元もあり、それを目当てに訪れる人も。また「三川内焼オークション」や「豆皿展示販売」「絵付体験」など、イベントも開催される。窯元めぐりでは人との出会いも魅力のひとつ。伝統の技や献上品にまつわる物語など、三川内焼ならではの話を窯元から直接聞くことができるのは、貴重な体験だ。

祭りの最後に「抽選会に参加しませんか」と声を掛けられた。抽選器を回すと、残念ながらハズレだったものの、「はまぜん」をモチーフにした小さなやきものをいただいた。聞けば、「箸置きや葉味入れ、ゆで卵を置いてもいいですよ」とのこと。デザインは様々で、それぞれの窯元が趣向を凝らして制作したものだという。思わぬ小さなお土産に心が弾んだ。



はまぜん

三川内では毎年、ゴールデンウィーク期間中に「はまぜん祭り」が開催されている。「はまぜん」とは器と同じ素材で作られた皿のようなもの。やきものは窯で焼成する間に一割ほどが収縮する。その際のゆがみを防ぐために「はまぜん」の上に乗せて焼き、器と同じように収縮させることで、ゆがみを防ぐという。より優れた製品を焼成させるために欠かせない「はまぜん」だが、その性質上、一度でその役目を終えてしまう。祭りの初日には、大切な道具である「はまぜん」と先人たちへの感謝を込めて、陶祖神社で祭礼が行われる。緑豊かな境内では陶工がろくろを廻し「はまぜん」を奉納。太鼓や笛の音が響きわたり、厳かな時間が流れる。はまぜん祭りでは約二十軒の窯元めぐりを楽しむことができる。高価な器が安く購入できる

抽選会でいただいた「はまぜん」をモチーフにしたやきもの

